

新庁舎建設特別委員会の概要（第19回）

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 1 日 時 | 令和3年2月16日（火） 13時00分～ |
| 2 場 所 | 第1議会委員会室 |
| 3 出 席 | 全委員 |
| 4 内 容 | 1 美濃太田駅南地区街づくり協議会との意見交換 2 その他 |

【街づくり協議会から出た主な意見】

- ・ これまでに再開発を行った先進地への視察を何度も行い知識・見解を深めてきた。
- ・ 単に高層ビルを建設することが再開発ということではない。地域の需要に沿った開発を行うことが大切である。
- ・ 駅前と中山道を賑わいの核とし、さらに2つを繋ぐ駅前通りから周辺へ賑わいが拡大していく形が効果的であると考える。
- ・ 新庁舎建設と一緒に再開発ができれば駅前周辺が美濃加茂市のメインとなる場所になると考える。
- ・ 慎重に計画を進めることで、借金が残らない事業としていく。
- ・ 商業施設、住居施設の他に多目的に使用できる広場を設置していきたい。
- ・ 再開発事業にまだ賛同をいただいていない地権者もいるが、組織がまだ協議会であるため正式に承諾書をいただくような段階ではない。また、中には駅前に新庁舎建設が決まれば組織に参加したいという方もみえる。遠方にいる地権者の方などには街づくり協議会の会議録を渡して情報共有を行っている。

【委員から出た主な意見】

- ・ 新庁舎建設地はまだ正式に決定していないが、市所有の商業ビル（シティホテル）についてどう考えているか。
→街づくり協議会として無くなるのは寂しく感じる。例えば、新庁舎の中にホテルも残すなどいろいろな提案はしていきたい。
- ・ 市民が期待し、美濃加茂市の未来につながる再開発をお願いしたい。
- ・ これまでに再開発を行った先進地へ何度も視察を行ったようだが、現地を見てどう

感じたか。またどのようなコンセプトで行っていきたいか。

→街づくり協議会としては、それぞれの先進地が独自のカラーを持っていて勉強になった。ただ、再開発がブームみたいな流れになっており、同じような景色でつまらなくなっている。美濃加茂市は情緒が感じられる「ノスタルジー」をテーマとした、他の再開発とは違う新しい形で市が賑わうようにしたい。また、例えばコロナウイルスに対応した施設の設計であったり、高級スーパーや回転しない寿司屋を誘致したりなど、他の地区と差別化した違うコンセプトにしていきたい。

- ・どのくらいの期間で再開発事業を完了する予定なのか。
→街づくり協議会では令和 10 年頃を完了と見込んでいるが、まだまだプロセスや課題は多い。
- ・今後、市民に対して再開発事業の具体的な内容を示していただき理解を深めていく形を作してほしい。

【まとめ】

今後も街づくり協議会と市議会が勉強を重ね、駅前再開発事業について情報共有しながら進めていきたい。新庁舎建設については、現在駅前候補地に絞り議論を行っているところであり、これからさらに議論を深めていくものである。引き続きお互いが協力し合い、特別な駅前再開発事業になるよう努めていきたい。